

第1回亀有地域観光拠点施設地域検討会 議事録

日 時：令和4年8月29日（月）午後6時30分～午後8時

会 場：亀有地区センター 第1会議室

出席委員：19名出席、3名欠席

出席者：唐松委員、小室委員、斎藤委員、佐々木委員、佐藤（修）委員、佐藤（尚）委員、島田委員、菅原委員、鳥山委員、仲林委員、橋口委員、長谷部委員、花島委員、平岩委員、福岡委員代理、細井委員、松原委員、鞠子委員、山田委員

（五十音順）19名出席

事務局：中島観光課長、秋元施設整備担当課長、中村観光担当係長、観光課職員、営繕課職員、株式会社久米設計、株式会社乃村工藝社

議 題：（1）会長・副会長の選出について
（2）地域検討会の進め方について
（3）事業概要について
（4）施設計画等について

<配付資料>

- 【資料1】 亀有地域観光拠点施設地域検討会運営要領
- 【資料2】 亀有地域観光拠点施設地域検討会傍聴規程（案）
- 【資料3】 亀有地域観光拠点施設整備事業について
- 【資料4】 亀有地域観光拠点施設企画（案）※投影のみ

1 開会

2 挨拶

産業観光部長の挨拶後、各委員の自己紹介を行った。

3 議題

（1）会長・副会長の選出について

会長は、「亀有地域観光拠点施設地域検討会運営要領」に基づき、委員からの推薦により小室委員を選出。また、副会長は、小室会長の指名により島田委員及び橋口委員を選出。

（2）地域検討会の進め方について

質疑応答要旨

- ・この検討会はどうやって公告するのか。
⇒（事務局回答）区ホームページにて公表し、傍聴希望の方については、事前に連絡いただく形で考えている。

（3）事業概要について

意見要旨

- ・この施設をハブとして地域を活性化していくため、地元が後押ししなければならない。
- ・関係機関として出来ることを検討し、対外的なPRなど、協力していきたい。

- ・この施設を拠点として地域全体を回遊できるような方法を考える必要がある。
- ・展示だけではない体験型の施設としてほしい。
- ・両さんが考えるような、突拍子もないような施設としてほしい。
- ・VRなど、秋本先生のアイデアを生かした展示をしてほしい。
- ・定期的な更新を行うなど、何度も来たくなるような施設としてほしい。
- ・亀有警察署にも協力いただくと良いのでは。

(4) 施設計画等について

質疑応答要旨

- ・来館者への多言語対応が必要ではないか。
⇒ (事務局回答) 具体的な検討はこれからだが、最近ではスマートフォンなど、自分が使いやすいツールを使う傾向があることを考慮する。
- ・地下は作らないのか。
⇒ (事務局回答) 水位が高い場所であることから、地下を避けた。
- ・駐車場や観光バスの乗り降りについてはどう考えているのか。
⇒ (事務局回答) 具体的な検討はこれからだが、近隣施設にご協力いただければと考えている。
- ・来館者の見学時間や収容人数はどれくらいか。
⇒ (事務局回答) 具体的な検討はこれからだが、見学時間については、現状、40分～1時間程度と想定している。
- ・グッズについてはどう考えているのか。
⇒ (事務局回答) 今後、地域の皆様と意見交換しながら検討していきたい。今も商店街グッズを販売しているが、そのグッズとバッティングしないような、施設ならではのグッズを考えていきたい。

意見要旨

- ・地域が応援していることを最初からアピールしていきたい。
- ・この施設だけでなく、北口を含め、亀有全体を回れるようにしてほしい。
- ・初めて亀有に来る方も大勢いると思うので、駅から施設まで、できればキャラクターを活用したサインがあると良い。
- ・ここにしかない、ワクワクするような施設としていただきたい。
- ・老若男女楽しめるような施設としていただきたい。
- ・漫画だけでなく、アニメや音声を使っても良いのでは。
- ・施設前の混雑が予想されることから、横断歩道を設置するよう警察と協議しても良いのでは。

4 今後の予定

次回は10月上旬に開催する旨報告した。

5 閉会